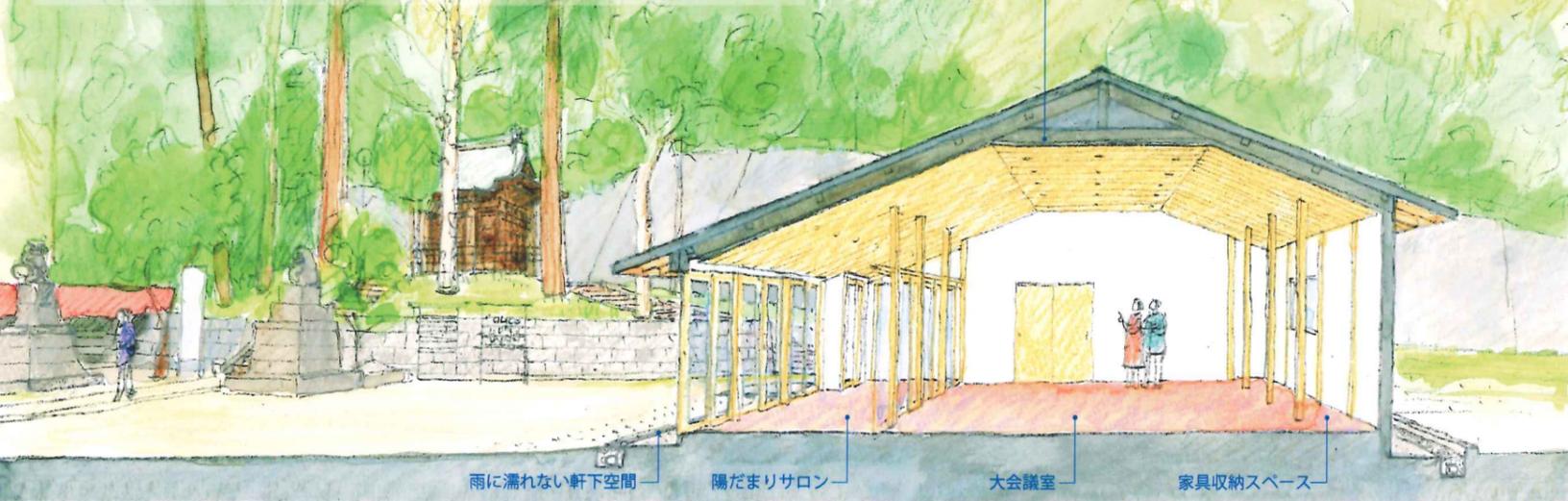


神社と一体となった自治会館

- 十二神社の境内にあって佇まいが調和し、時間が経過する中でも陳腐にならない建築を作ります。
- 境内という特徴を出来る限り活かせるように床の高さを低く設定することで、前庭と一体となった使い方ができるようにしています。
- 少人数の集まりから総会までの幅広い使い方に対応でき、会館の利用を促進させます。
- 全ての会館利用者にとって使いやすいようバリアフリーに配慮しつつ災害時の一時避難場所としても機能する安心安全な自治会館です。



開き止めを兼ねた水平材を入れ、建築の剛性を高めています
中央部が高い天井は、構造的な工夫を活かしたものです

■バリアフリーに対応した建築

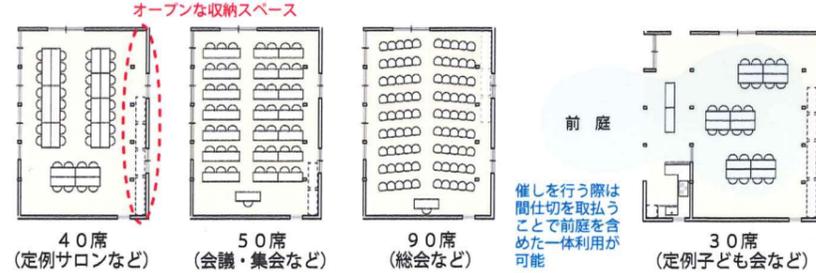
- 神社前庭と会館の床レベルを出来るだけ近づける計画とし、高低差を少なくすることで会館へのアプローチがしやすい計画としています。
- 玄関先にはスロープを設け、開口部には引戸を多用するなど車椅子の方でも移動がしやすい計画にしています。

■災害に強い建築

- 庁舎等と同レベルの耐震性能（建築基準法に定める構造基準の1.5倍）を確保し大地震が起きても安心して避難できる建築とします。
- 災害時の停電対応として、テレビ・ラジオなどから正確な情報が入手できるように最小限の電力を確保できるような検討を行います。

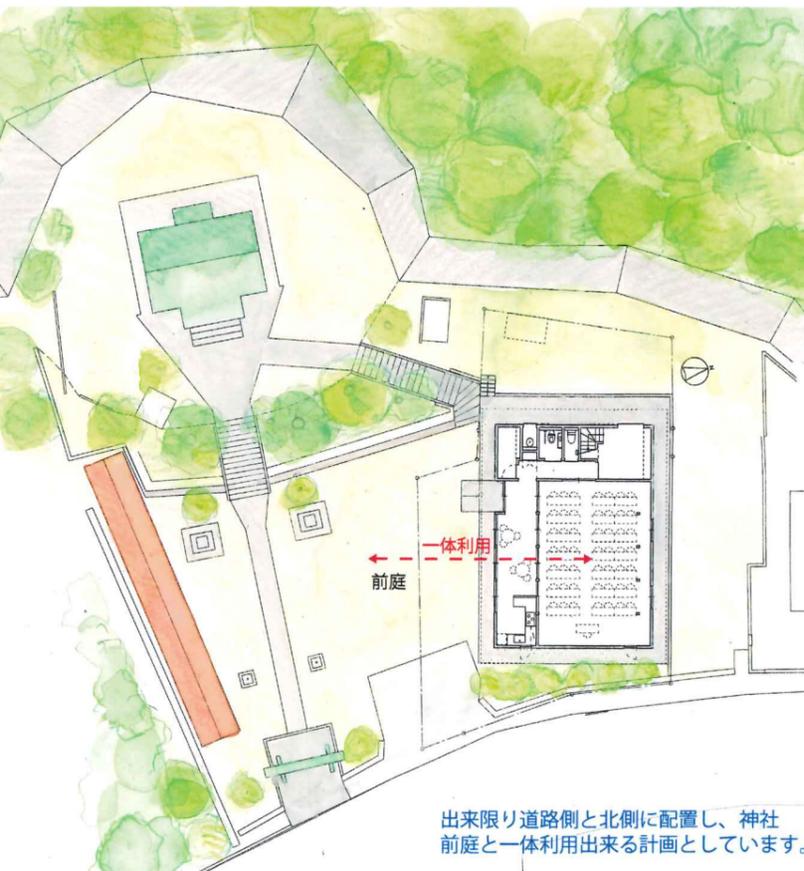
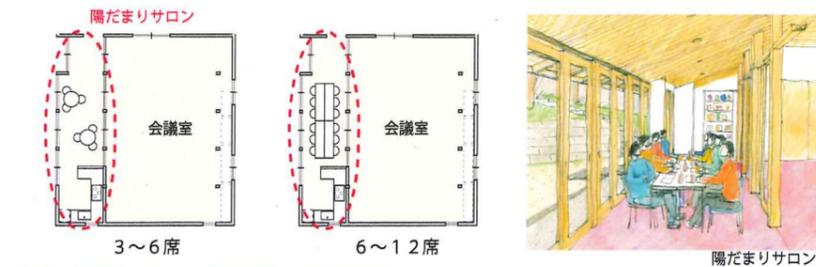
■様々な利用に対応できる会議室

- 家具の配置によって、総会や定例サロン、子ども会など様々な利用に対応できます。
- 使わない家具は窓側に寄せておけるオープンな収納スペースを計画しています。

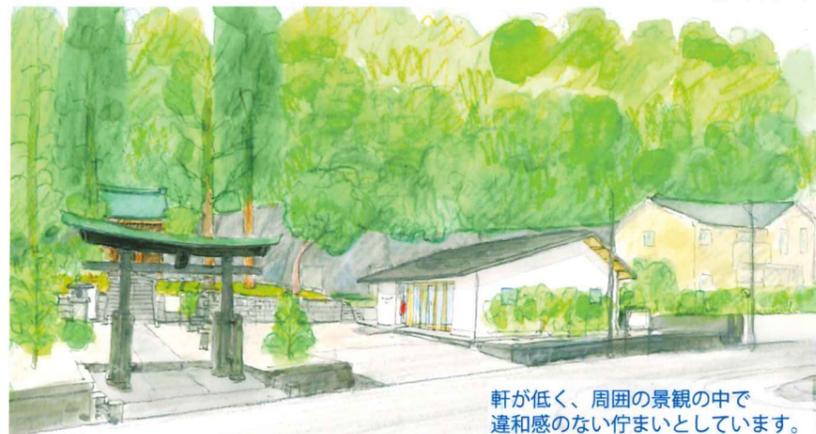


■少人数で利用できる陽だまりサロン

- 会議室を使用しない規模の打ち合わせやお茶会など少人数からでも気軽に利用できるように厨房と一体利用できる陽だまりサロンを計画します。



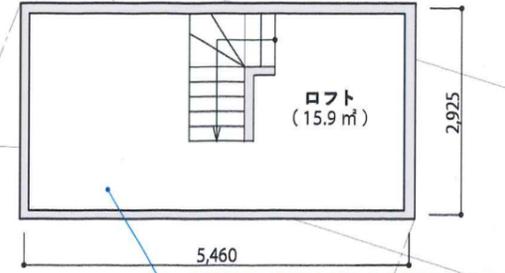
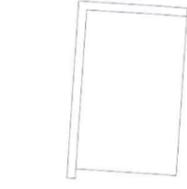
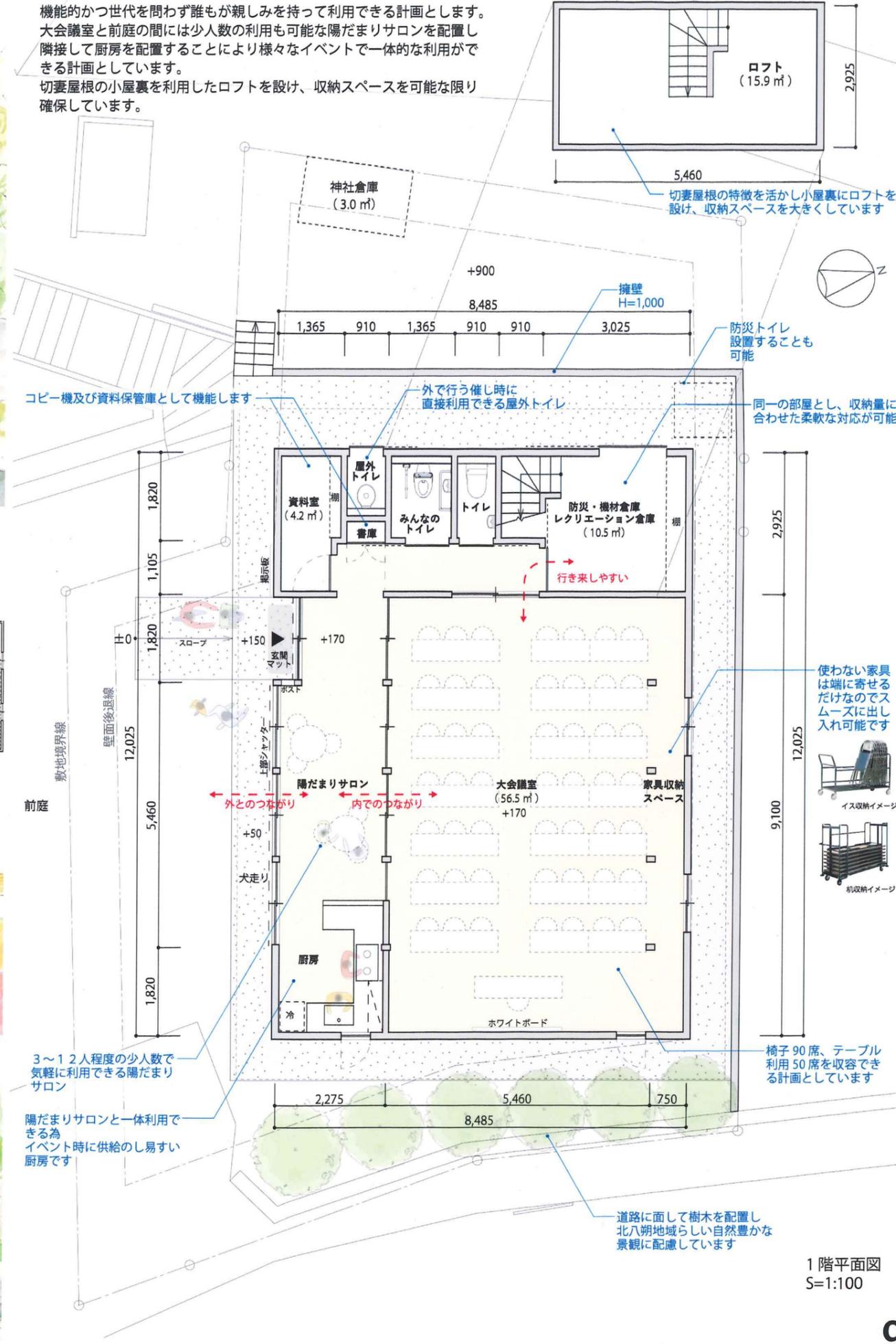
出来限り道路側と北側に配置し、神社前庭と一体利用出来る計画としています。



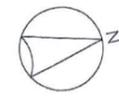
軒が低く、周囲の景観の中で違和感のない佇まいとしています。

■誰もが利用しやすい平面計画

機能的かつ世代を問わず誰もが親しみを持って利用できる計画とします。大会議室と前庭の間には少人数の利用も可能な陽だまりサロンを配置し隣接して厨房を配置することにより様々なイベントで一体的な利用ができる計画としています。切妻屋根の小屋裏を利用したロフトを設け、収納スペースを可能な限り確保しています。



切妻屋根の特徴を活かし小屋裏にロフトを設け、収納スペースを大きくしています



コピー機及び資料保管庫として機能します

外で行う催し時に直接利用できる屋外トイレ

同一の部屋とし、収納量に合わせた柔軟な対応が可能



使わない家具は端に寄せるだけのスムーズに入れ可能です
イス収納イメージ
机収納イメージ

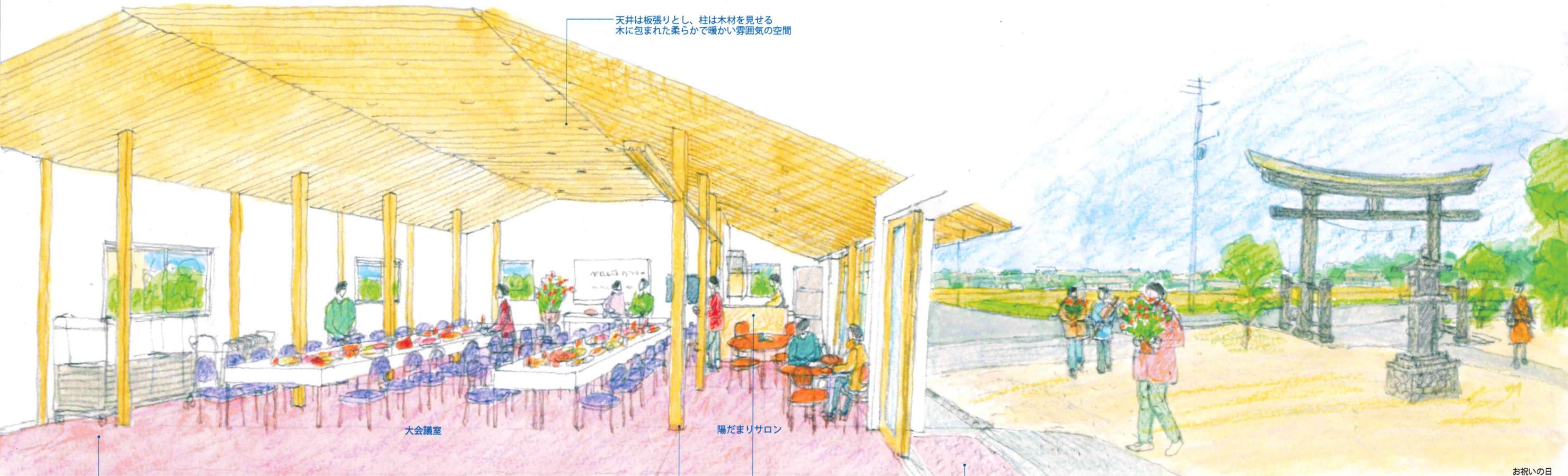
3~12人程度の少人数で気軽に利用できる陽だまりサロン

陽だまりサロンと一体利用できる為イベント時に供給のしやすい厨房です

椅子90席、テーブル利用50席を収容できる計画としています

道路に面して樹木を配置し北八朔地域らしい自然豊かな景観に配慮しています

1階平面図
S=1:100



天井は板張りとし、柱は木材を見せる
木に包まれた柔らかく暖かい雰囲気空間

家具収納スペースを柱で区画している
毎回扉を開け閉めしなくていいので出し入れが簡単（扉をつけることも可能）

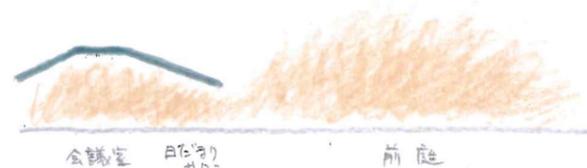
引戸を取り外せば会議室と陽だまりサロンは
一体で利用可能

陽だまりサロン

陽だまりサロンと一体で利用できるキッチン

雨に濡れない入り込んだ玄関ポーチ

お祝いの日



■庭との連続性

中央部の天井が高いゆったりとした会議室と天井の低い陽だまりサロンが
前庭と連続した一体空間として計画されています。

■景観

庭から眺めた時に建物の存在が大きにならないように庭側に屋根を下げ、
懐かしい佇まいとなるように計画しています。
床レベルを極力下げ、施設と前庭が一体的に使えるように計画しています。
ここに計画している室内空間は新鮮で初々しいものですが、建物の佇まい
はオーソドックスで何十年後になっても違和感のない控えめで落ち着いた
ものになっています

風致地区の条例に適用した植栽

緩やかにアプローチできる
スロープ

内外のレベル差を極力少なくし、内外
連続使用を可能としています

前庭からの眺め



小屋裏に収納用のロフトを設け、
未利用空間を無駄なく活用します

自然の心地よい
風を通します

S=1:200

長手断面図

短手断面図

S=1:200

南側立面図

東側立面図

屋根は耐震性と耐候性に配慮し
軽量のガルバリウム鋼板とします

連続する開口部を設け、中の様子
がよく見える会館とします

親しみのある明るい
外壁とします

■シンプルで合理的な構造計画

切妻屋根の頂部に水平材を入れ、開き止めを兼ねて水平
構面を強化しています。会議室中央の高い天井はこ
うした架構を活かしたものです。
耐力壁の配置のバランスも良く、無理のない構造計画
が可能です

■経済性、施工性、環境配慮について

木材は比較的安価な杉を採用し、コストの削減に努めます
特別な工法は使わず、在来工法で施工可能な建築です
長方形プラン切妻屋根の極力単純な形状とし、施工性、経
済性ともに考慮した計画としています
省エネ等級4（H25基準相当）を目指します

■建築概要

敷地面積：262.68㎡
建築面積：105.06㎡（神社倉庫含む）
延床面積：104.23㎡（神社倉庫含む）
：+ロフト15.97㎡
建ぺい率：39.99% ≤ 許容40%
容積率：39.68% ≤ 許容80%
建築規模：木造平屋建て

■主な仕上げ

屋根：ガルバリウム鋼板葺き
外壁：アクリルリシン吹付
開口部：ペアガラス
床：長尺塩ビシート貼り
壁：ビニールクロス貼り
天井：板張り

■概算の総事業費

本体工事費	1,872万円
設備工事費	410万円
外構工事費	170万円
地質調査費	5万円
設計・監理料	270万円
消費税（10%）	273万円
総事業費	3,000万円

■主要な設備

- ・ガス/プロパンガス
- ・空調/ヒートポンプエアコン
- ・防犯/常夜灯、防犯灯、防犯カメラ
非常ベル
- ・通信/無線LAN
- ・電気/LED照明、集合スイッチ、
コントローラー

※今後の設備機器設置検討の提案
・自家発電機を利用した最小電力確保
・一時避難場所として防災トイレ設置
・蓄熱型温水床暖房の設置の可能性